

# 株式会社ユーシン精機

2014年3月期

## 決算説明会

代表取締役社長 小谷真由美

2014年5月12日

東証第一部 証券コード6482

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

# 会社概要

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長 小谷 眞由美
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	589人 (2014年3月末現在、連結)
連結売上高	179億円 (2014年3月期)
上場	東証第一部
証券コード	6482
売買単位	100株

# 製品ラインアップ(1)

## 取出口ロボット

**HSAシリーズ**  
〈トラバースタイプ〉



**HSTシリーズ**  
〈トラバースタイプ〉



※2014年4月発売

**RCシリーズ**  
〈トラバースタイプ〉



**YCシリーズ**  
〈トラバースタイプ〉



**SCシリーズ**  
〈トラバースタイプ〉



**TSXAシリーズ**  
〈サイドエントリータイプ〉



**HOPシリーズ**  
〈スイングタイプ〉  
〈堅型成形機用〉



**DRDシリーズ**  
〈サイドエントリータイプ〉  
(光ディスク専用)

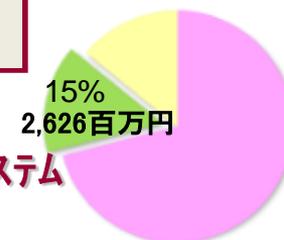


**SXCシリーズ**  
〈サイドエントリータイプ〉



# 製品ラインアップ(2)

## 特注機



2014年3月期

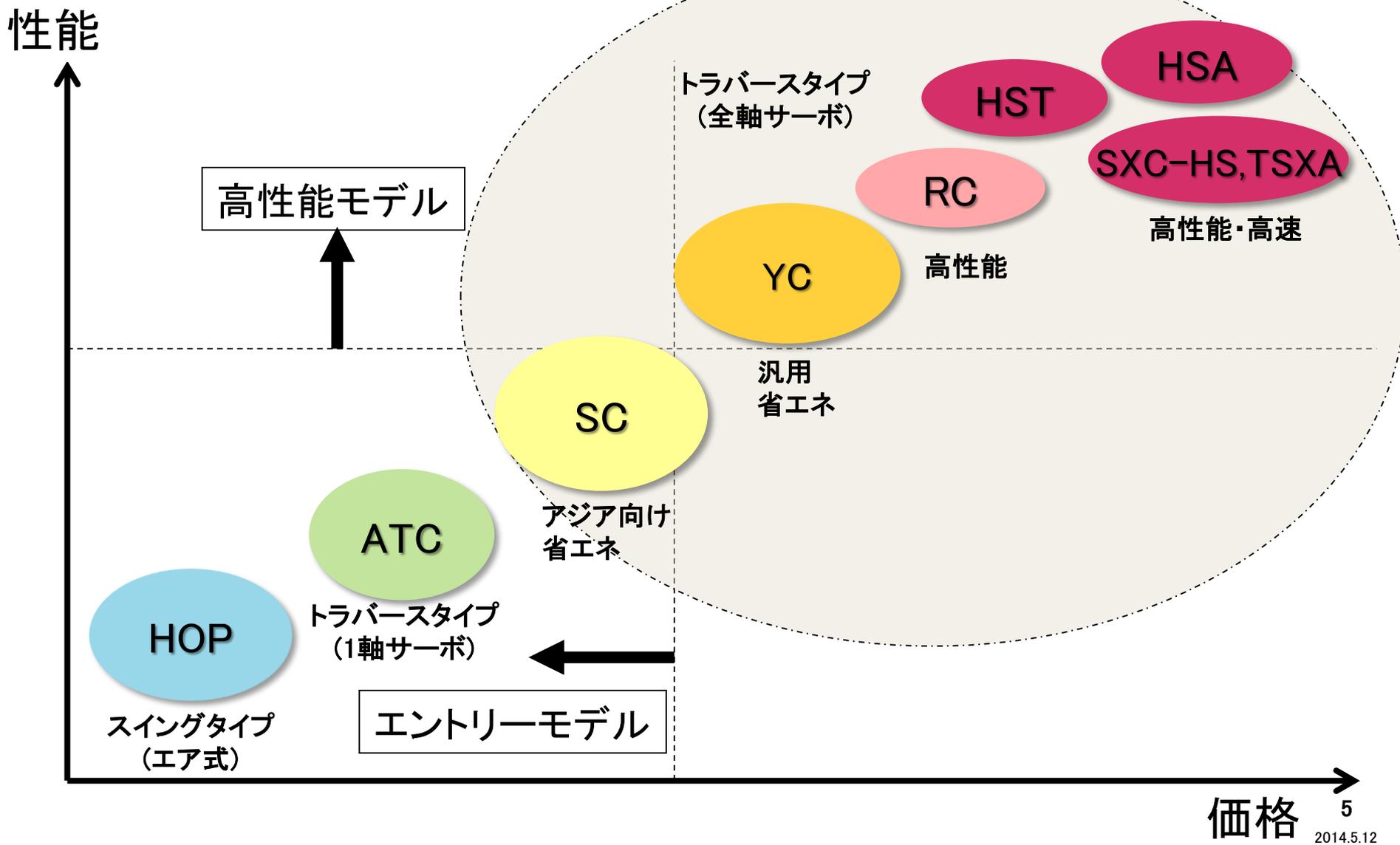
## 部品・保守サービス

### 据付・メンテナンス



2014年3月期

# 取出口ロボットの性能と価格



# 当社の特徴

## 理念・方針

- ユーザーの要望に応えるものづくり
- 新しい分野への挑戦

## グローバル展開

- 海外売上比率の高さ
- 業界一のグローバルな拠点網

## 顧客からの支持

- 営業、サービスのレスポンスの良さ
- 納期厳守による信用力

## 安定した 財務体質

- 設備を最小限にしたファブレス経営
- 無借金経営

業界シェア世界第一位

# 2014年3月期実績

(百万円)

	2013/3			2014/3			2014/3 〈参考値〉 <sup>*2</sup>	
	金額	比率	伸び率 <sup>*1</sup>	金額	比率	伸び率 <sup>*1</sup>	金額	比率
売上高	14,721	100.0	3.4	17,909	100.0	21.7	18,351	100.0
売上総利益	5,770	39.2	6.3	7,640	42.7	32.4	7,856	42.8
営業利益	1,498	10.2	17.7	2,792	15.6	86.3	2,951	16.1
経常利益	1,746	11.9	38.0	3,095	17.3	77.2	3,107	16.9
当期純利益	1,114	7.6	43.2	1,893	10.6	69.8	1,920	10.5

\*1 「伸び率」は、対前年増減率

\*2 2014/3 〈参考値〉 は、本社の決算期(3月)と子会社の決算期(12月)を統一した場合の値です。今後はグループの決算期を3月に統一した数値で公表します。

# 2014年3月期実績について

	コメント
売上高	<p>➤ 前期比 21.7%増の17,909百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取出口ボットは前期比 25.6%増、特注機は 22.5%増           <ul style="list-style-type: none"> <li>- 最適設計を取り入れた主力機種(YC・SCシリーズ)が売上増加に寄与</li> <li>- 韓国は現地通貨ベースでも前期比大幅増収</li> <li>- アメリカ、中国、イギリス、インドネシアも増収</li> <li>- 中国、東南アジアでの自動化ニーズに対応</li> </ul> </li> <li>・半導体関係は予定通り</li> <li>・医療関係は国内外で好調</li> </ul>
営業利益	<p>➤ 前期比 86.3%増の2,792百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主力機種の収益性向上と販売数量効果による利益確保</li> <li>・海外子会社の増収効果と為替のメリット</li> <li>・本社における継続的なコストダウンによる原価低減</li> <li>・広州工場における現地調達化によるコストダウン</li> </ul>

# 2015年3月期予想

(百万円)

	2014/3(実績)				2015/3(予想)					
	第2四半期		通期		第2四半期			通期		
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	伸び率*	金額	比率	伸び率*
売上高	8,378	% 100.0	17,909	% 100.0	9,000	% 100.0	% 7.4	19,500	% 100.0	% 8.9
売上 総利益	3,411	40.7	7,640	42.7	3,600	40.0	5.5	8,400	43.1	9.9
営業利益	1,103	13.2	2,792	15.6	1,260	14.0	14.2	3,100	15.9	11.0
経常利益	1,271	15.2	3,095	17.3	1,350	15.0	6.2	3,500	17.9	13.1
当期 純利益	770	9.2	1,893	10.6	900	10.0	16.9	2,100	10.8	10.9

\*「伸び率」は、通期は対前期、第2四半期は対前年同四半期増減率

# 2015年3月期予想について

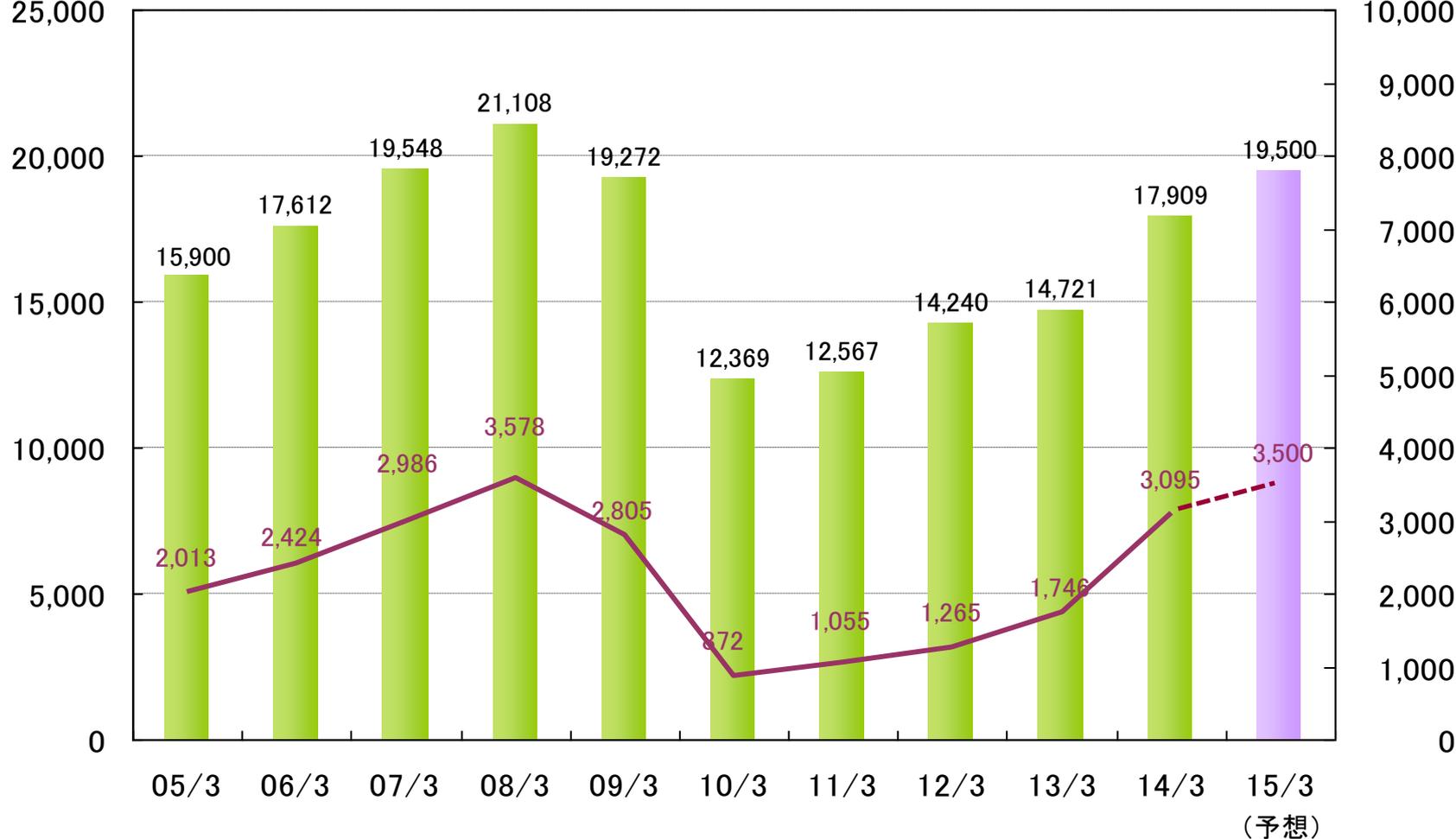
	コメント
売上高	<p>➤ 前期比 8.9%増の 19,500百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取出口ロボットは世界各地でさらに伸長               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 特にトルコやヨーロッパにおける拡販</li> </ul> </li> <li>・特注機は中国・東南アジアでの自動化ニーズがさらに伸びる見込み</li> <li>・半導体関係は下期を中心に計画</li> <li>・医療関係は堅調に推移</li> </ul>
営業利益	<p>➤ 前期比 11.0%増の 3,100百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主力機種 of さらなる販売数量アップ効果による利益確保</li> <li>・継続的なコストダウンと経費削減の推進</li> <li>・さらなる現地調達化による利益創出</li> </ul>

# 業績の推移

売上高  
 (百万円)  
 25,000

■ 連結売上高    — 連結経常利益

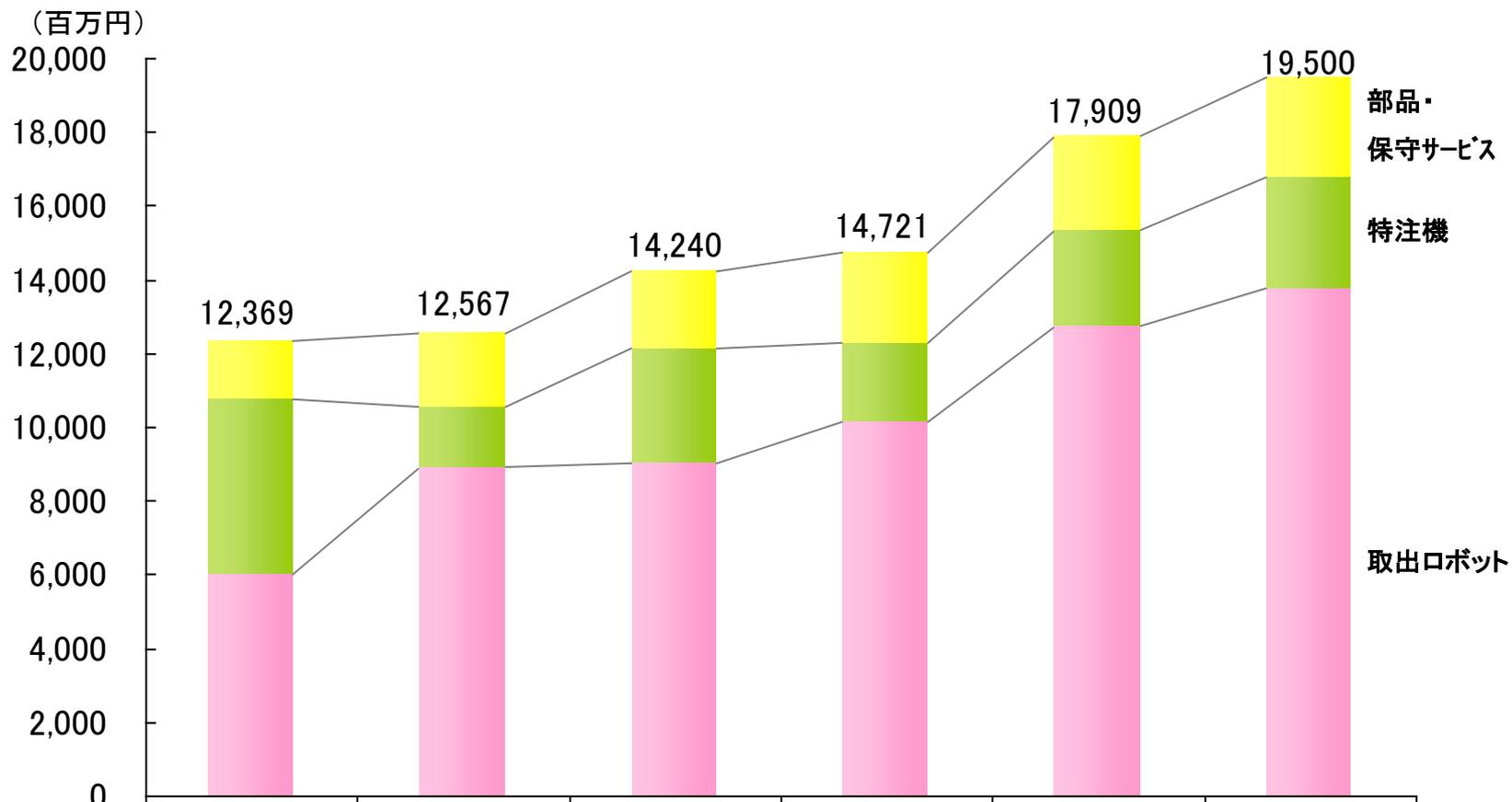
経常利益  
 (百万円)  
 10,000



<参考>

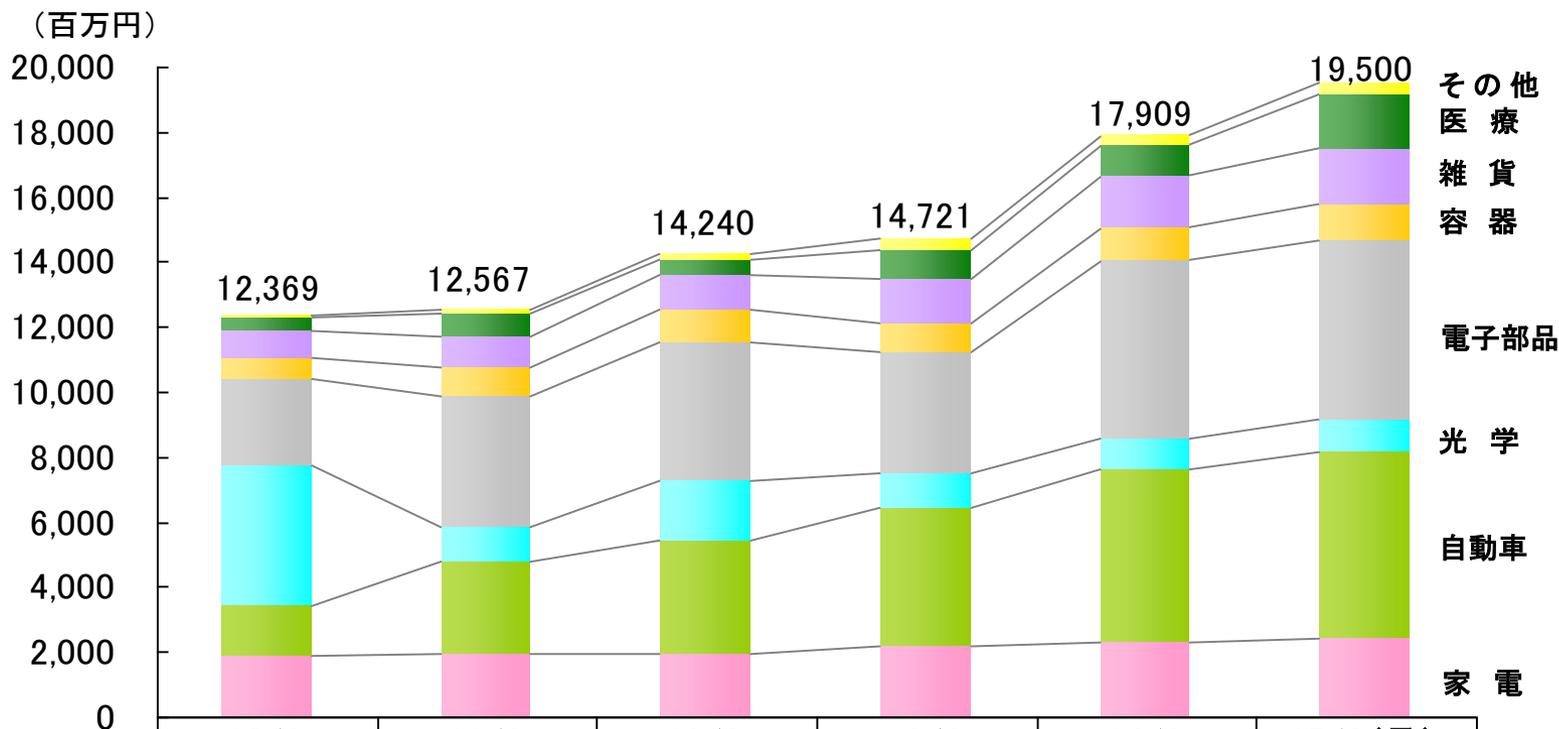
経常利益率(%)	12.7	13.8	15.3	17.0	14.6	7.1	8.4	8.9	11.9	17.3	17.9
----------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------

# 品目別売上高



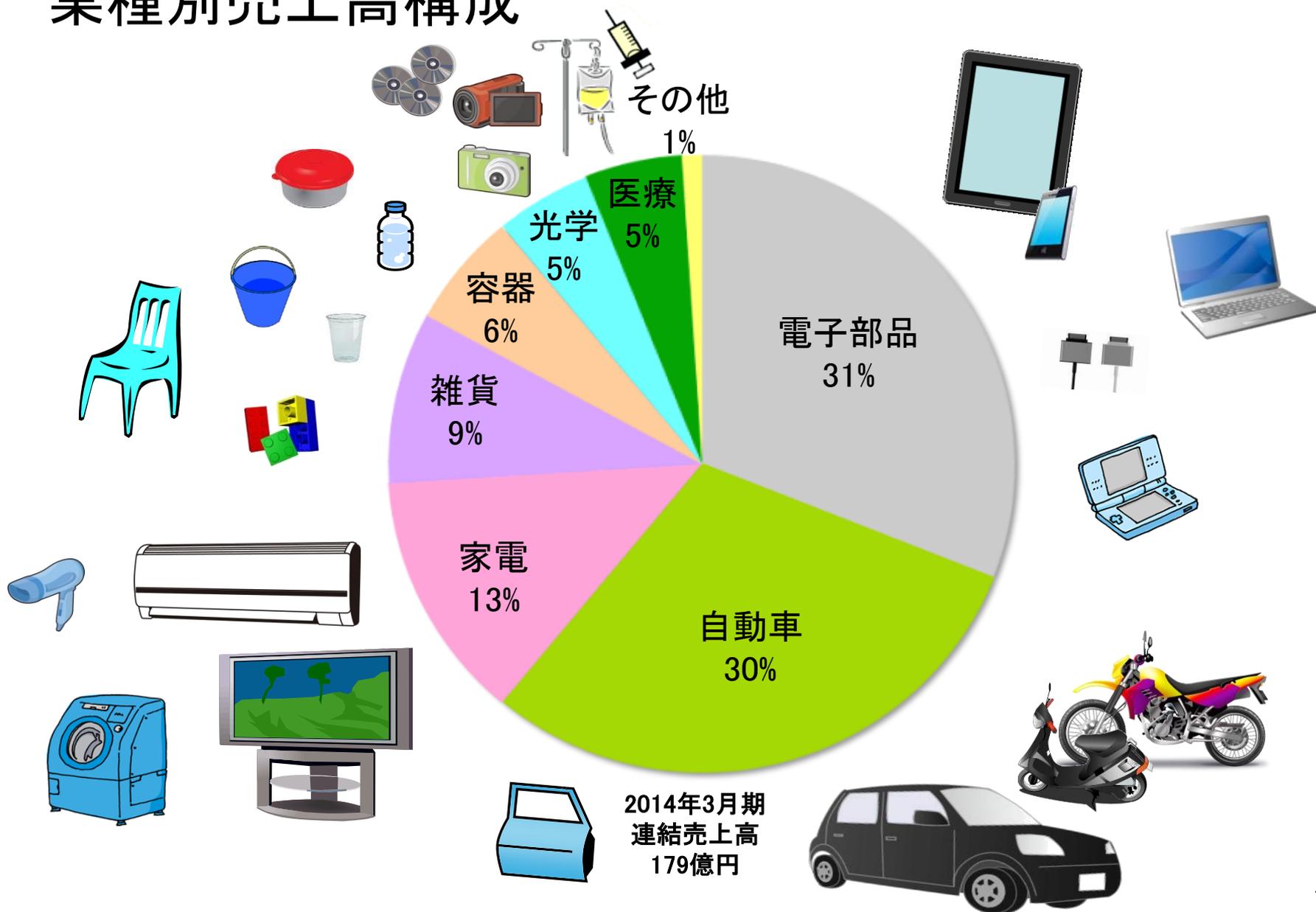
	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3(予)
■ 部品・保守サービス	1,582	1,984	2,105	2,436	2,547	2,700
■ 特注機	4,757	1,670	3,085	2,144	2,626	3,000
■ 取出口ロボット	6,029	8,912	9,048	10,141	12,736	13,800
合計	12,369	12,567	14,240	14,721	17,909	19,500

# 業種別売上高



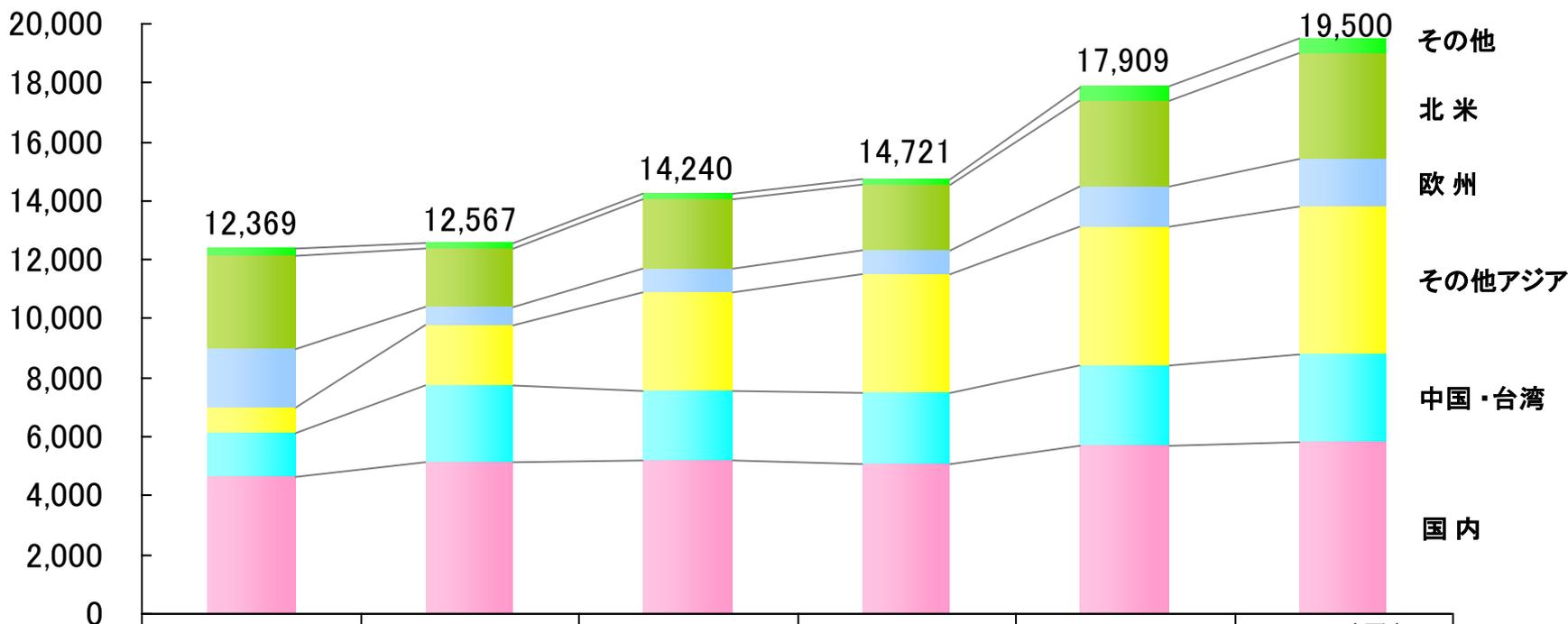
	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3(予)
■ その他	78	166	141	314	257	300
■ 医療	382	682	495	919	949	1,700
■ 雑貨(家具・コンテナ等)	862	962	1,071	1,366	1,634	1,700
■ 容器(食品・化粧品等)	661	855	963	898	1,008	1,100
■ 電子部品	2,615	4,033	4,302	3,700	5,468	5,500
■ 光学	4,319	1,047	1,813	1,042	970	1,050
■ 自動車	1,566	2,857	3,478	4,296	5,312	5,700
■ 家電(AV含む)	1,886	1,965	1,975	2,181	2,308	2,450
合計	12,369	12,567	14,240	14,721	17,909	19,500

# 業種別売上高構成



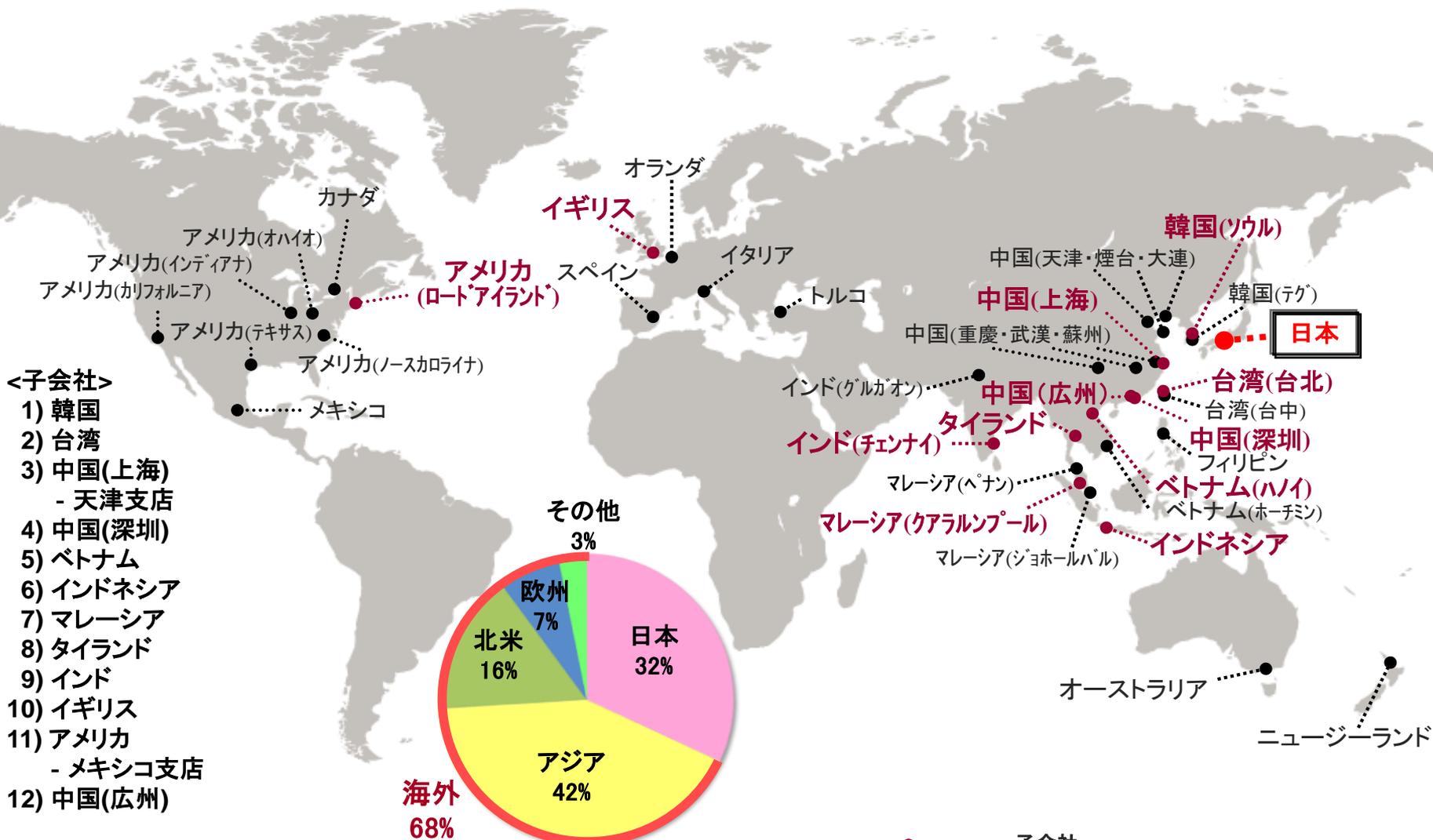
# 地域別売上高

(百万円)



	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3(予)
■ その他	216	152	177	181	484	500
■ 北米	3,185	1,986	2,387	2,215	2,917	3,600
■ 欧州	1,939	658	801	824	1,352	1,600
■ その他アジア	916	2,009	3,337	4,019	4,721	5,000
■ 中国・台湾	1,448	2,640	2,332	2,392	2,738	3,000
■ 国内	4,663	5,120	5,203	5,088	5,694	5,800
合計	12,369	12,567	14,240	14,721	17,909	19,500

# グローバルネットワーク



## <子会社>

- 1) 韓国
- 2) 台湾
- 3) 中国(上海)  
- 天津支店
- 4) 中国(深圳)
- 5) ベトナム
- 6) インドネシア
- 7) マレーシア
- 8) タイランド
- 9) インド
- 10) イギリス
- 11) アメリカ  
- メキシコ支店
- 12) 中国(広州)

## <駐在員事務所>

- 1) フィリピン
- 2) ベトナム(ホーチミン)

●..... 子会社  
●..... 支店、駐在員事務所、サービス拠点、代理店

# 子会社の業績の推移

(百万円)

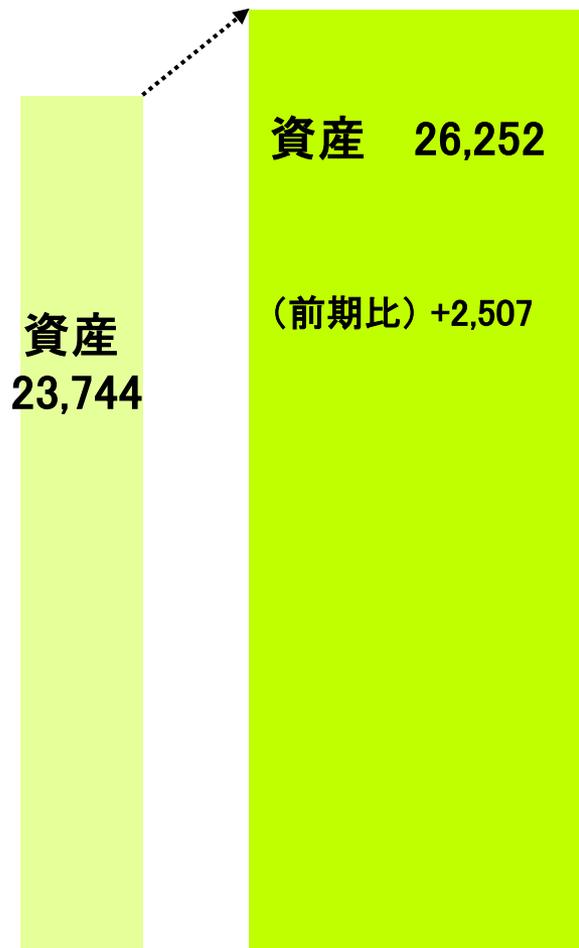
国	設立 時期	当社 出資 比率	12/12			13/12			15/3(見込み)		
			売上高	営業 利益	当期 利益	売上高	営業 利益	当期 利益	売上高	営業 利益	当期 利益
韓国	2000.10	100%	915	38	88	1,759	270	286	1,980	300	220
台湾	2001. 7	100%	100	16	5	109	19	8	109	7	6
中国(上海)	2007. 2	100%	514	15	13	866	17	15	978	19	14
中国(深圳)	2004. 4	100%	533	39	28	767	26	18	896	28	21
ベトナム	2014. 2	100%	-	-	-	-	-	-	88	35	26
インドネシア	2012.11	99%	4	2	3	90	34	32	112	36	27
マレーシア	2001. 5	100%	278	30	27	187	25	22	254	34	25
タイランド	2001. 8	49%	1,092	136	136	851	119	115	944	130	100
インド	2007. 8	95%	20	0	0	28	1	0	27	1	1
イギリス	2004. 3	95.6%	580	55	36	626	94	73	886	135	100
アメリカ	1988.10	100%	2,199	249	158	2,827	464	248	3,030	480	280
中国(広州)	2008. 9	100%	626	6	45	1,129	214	235	1,161	220	165

# 貸借対照表

(百万円)

## 主な資産増減

現金及び預金	+382
受取手形及び売掛金	+661
有価証券	△300
商品及び製品	△239
原材料及び貯蔵品	+267
建物及び構築物	△108
土地	+1,687



負債 4,376  
(前期比) +497

純資産 21,875  
(前期比) +2,010

負債 3,878

純資産 19,865

## 主な負債増減

支払手形及び買掛金	△23
未払金	△273
未払法人税等	+487
前受金	+124

## 主な純資産増減

利益剰余金	+1,368
為替換算調整勘定	+560

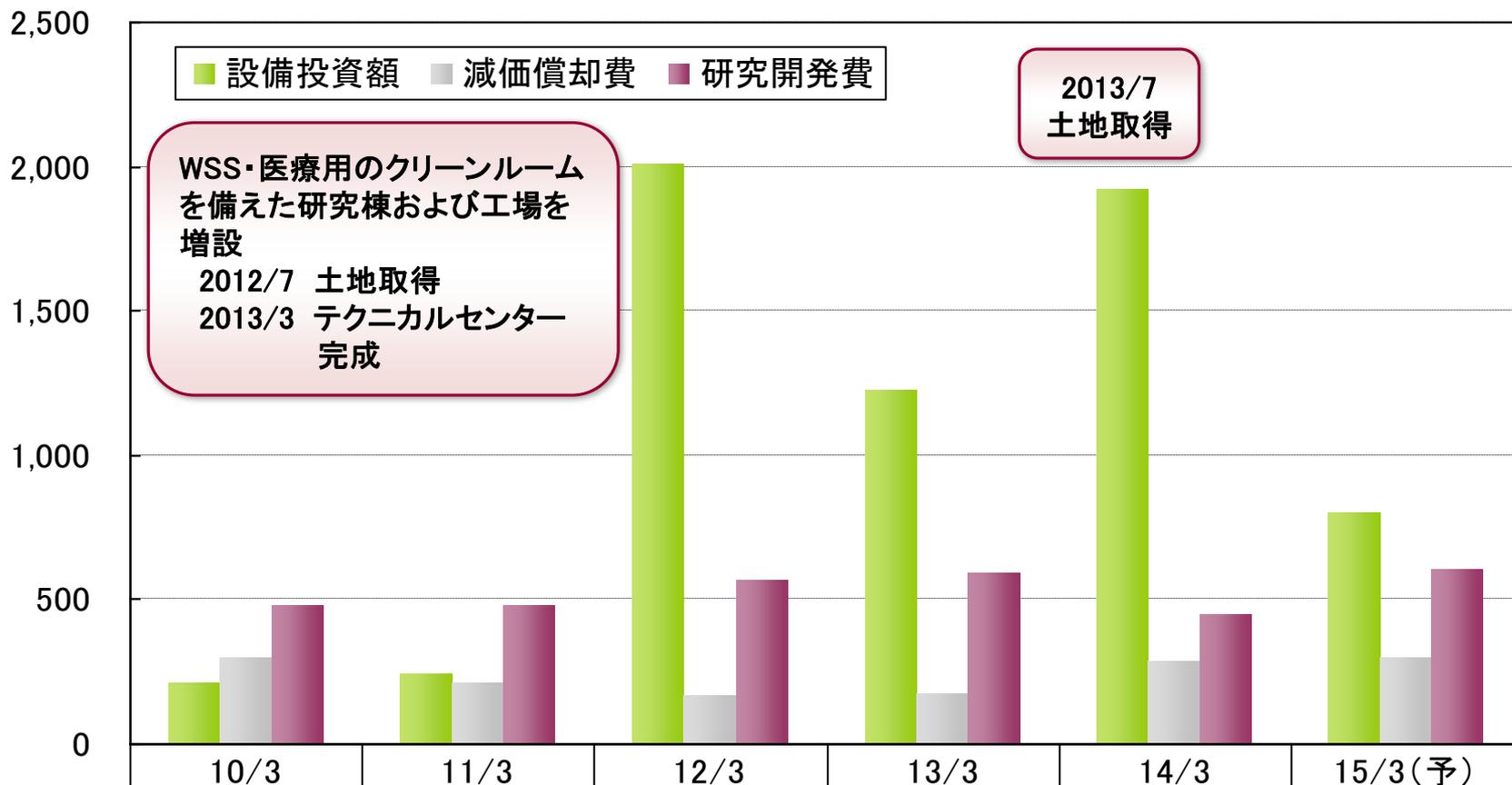
13/3

14/3

13/3

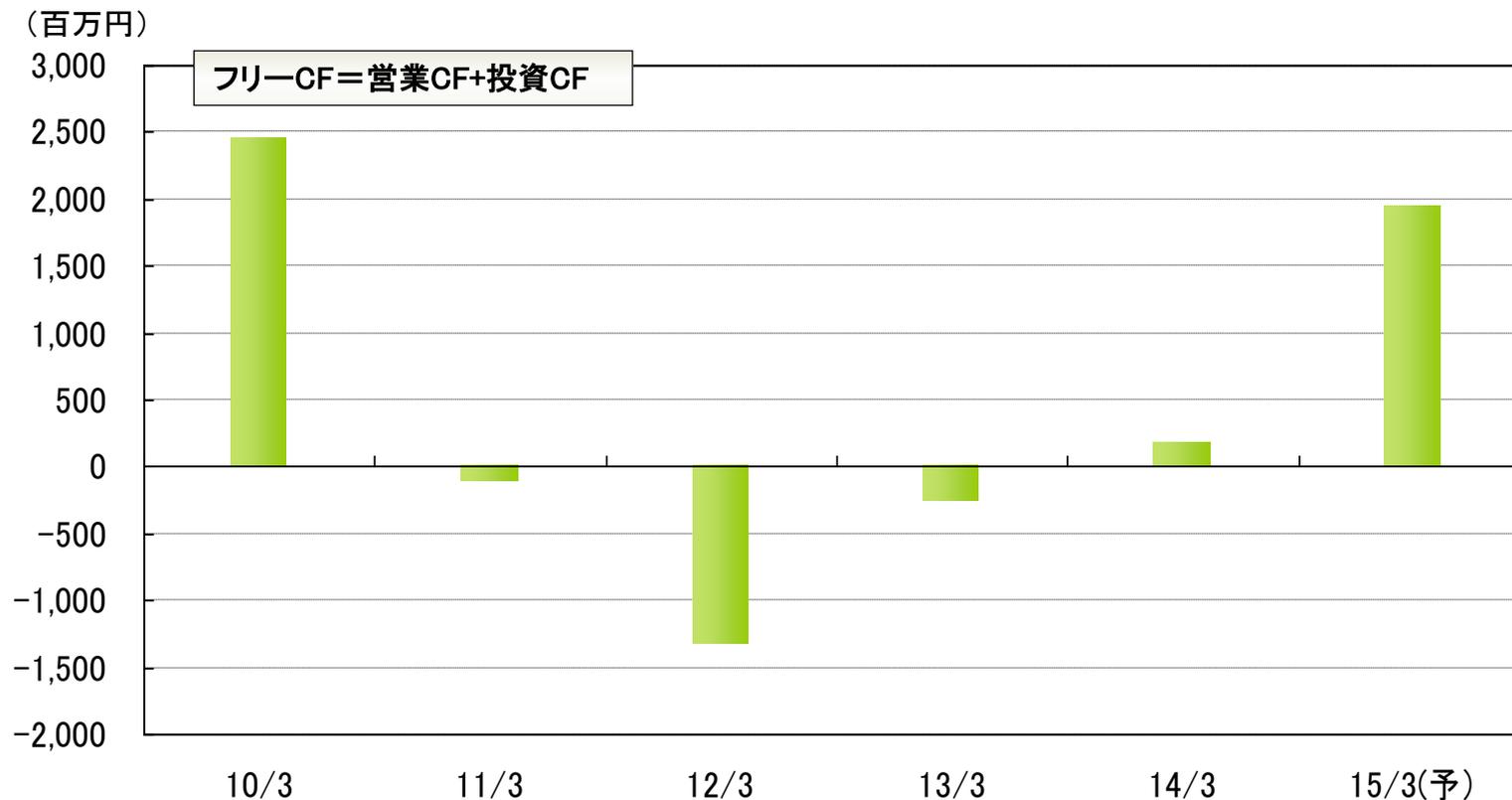
# 設備投資、減価償却費、研究開発費

(百万円)



■ 設備投資額	207	239	2,009	1,225	1,924	800
■ 減価償却費	296	207	166	170	282	295
■ 研究開発費	478	477	565	591	448	600

# キャッシュ・フローの推移



## ◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移

(百万円)

	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3(予)
営業CF	2,143	149	584	520	2,575	2,850
投資CF	322	△254	△1920	△781	△2,389	△900
財務CF	△349	△174	△409	△351	△569	△600

# 中期経営目標

2014年3月期

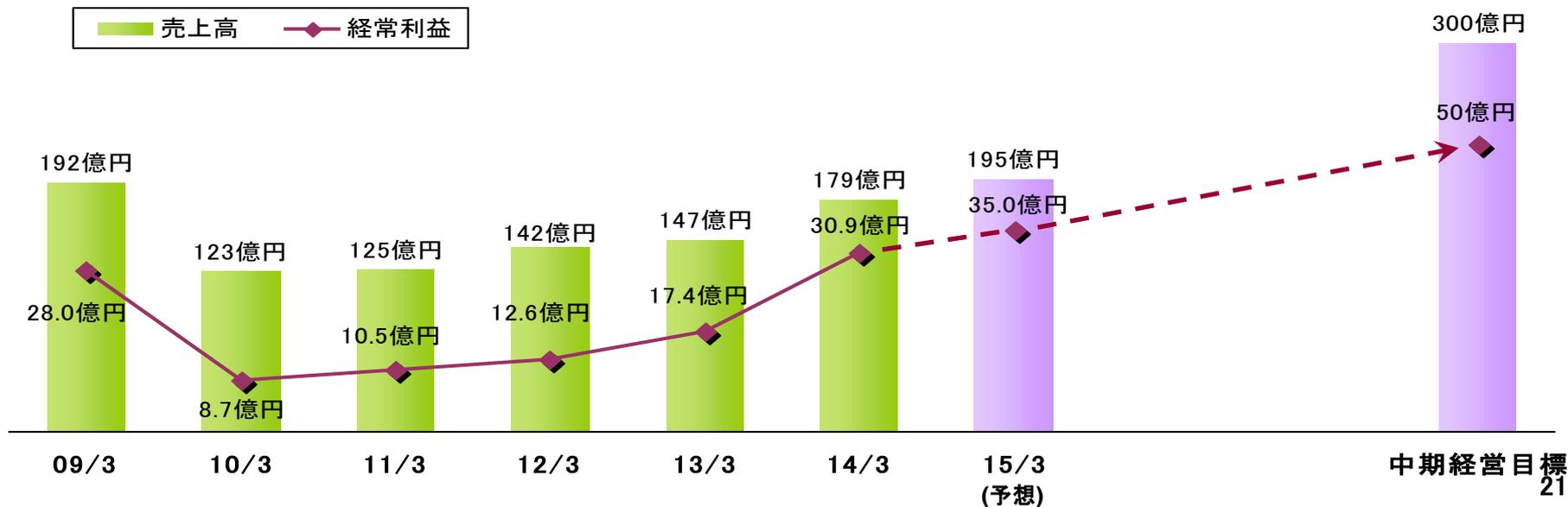
中期経営目標

- 連結売上高: 179億円
- 連結経常利益: 30.9億円
- 経常利益率: 17.3%
- EPS: 108.2円



300億円以上  
 50億円以上  
 15%以上  
 150円以上

■ 売上高 ◆ 経常利益



# 群を抜いた業界トップ企業に

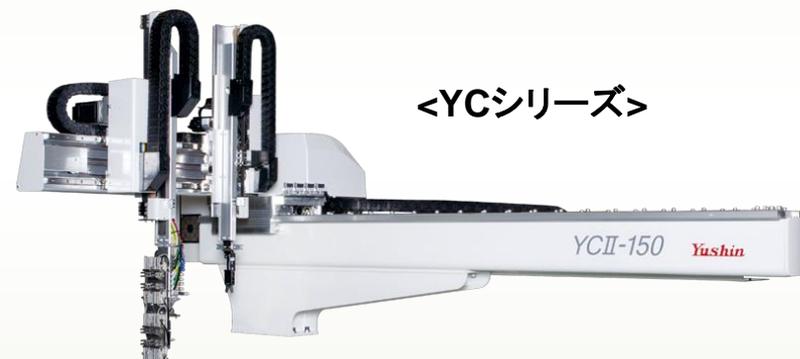
## (1) 商品力の強化①

- 京都大学と共同で開発した最適設計を取り入れた新型取出口ロボット
- 軽量化、高速化、省エネ性を追求



2011年度  
日本機械学会賞(技術)受賞！

K2013(ドイツ)で世界最速の  
取出タイム0.27秒を達成！



2012年度  
優秀省エネルギー機器表彰制度  
日本機械工業連合会会長賞受賞！

# 群を抜いた業界トップ企業に

## (1) 商品力の強化②

RAII- $\alpha$ -HSシリーズ(トップエントリーハイサイクル取出口ロボット)のフルモデルチェンジ機

- **最適設計**を取り入れた新型取出口ロボットHSTを、プラスチック業界最大の展示会K2013(ドイツ・デュッセルドルフ)に出展

<新製品・HSTシリーズ>

\*2014年4月発売



従来機(RAII- $\alpha$ -HSシリーズ)に比べ、**高速化**(取出タイム9.2%短縮)、**軽量化**(重量25.4%削減)、**制振**(整定時間98.6%削減)\*を実現

\*当社従来機比(数値は機種により若干異なります)

# 群を抜いた業界トップ企業に

## (2) 新事業への積極展開

➤ 新卒・中途技術者の積極採用(特に博士号取得者)

➤ 2013年3月 テクニカルセンター完成

クリーンルーム対応の工場に研究施設を併設

新規大型案件に対応可

土地: 10,850㎡

延床面積: 9,577㎡



## 群を抜いた業界トップ企業に

### (3) グローバル展開力の更なる強化

- 世界トップクラスの企業をターゲット顧客に
- グローバル企業の世界展開に対応
- 子会社や新たな販売代理店などによるグローバルな販売網
  - 東南アジアやヨーロッパ(イタリア・スペイン)、トルコ、ブラジルにおける販売強化
  - メキシコでの販売拡大(アメリカ子会社メキシコ支店)
- グローバル人材の積極採用

### (4) 人材育成

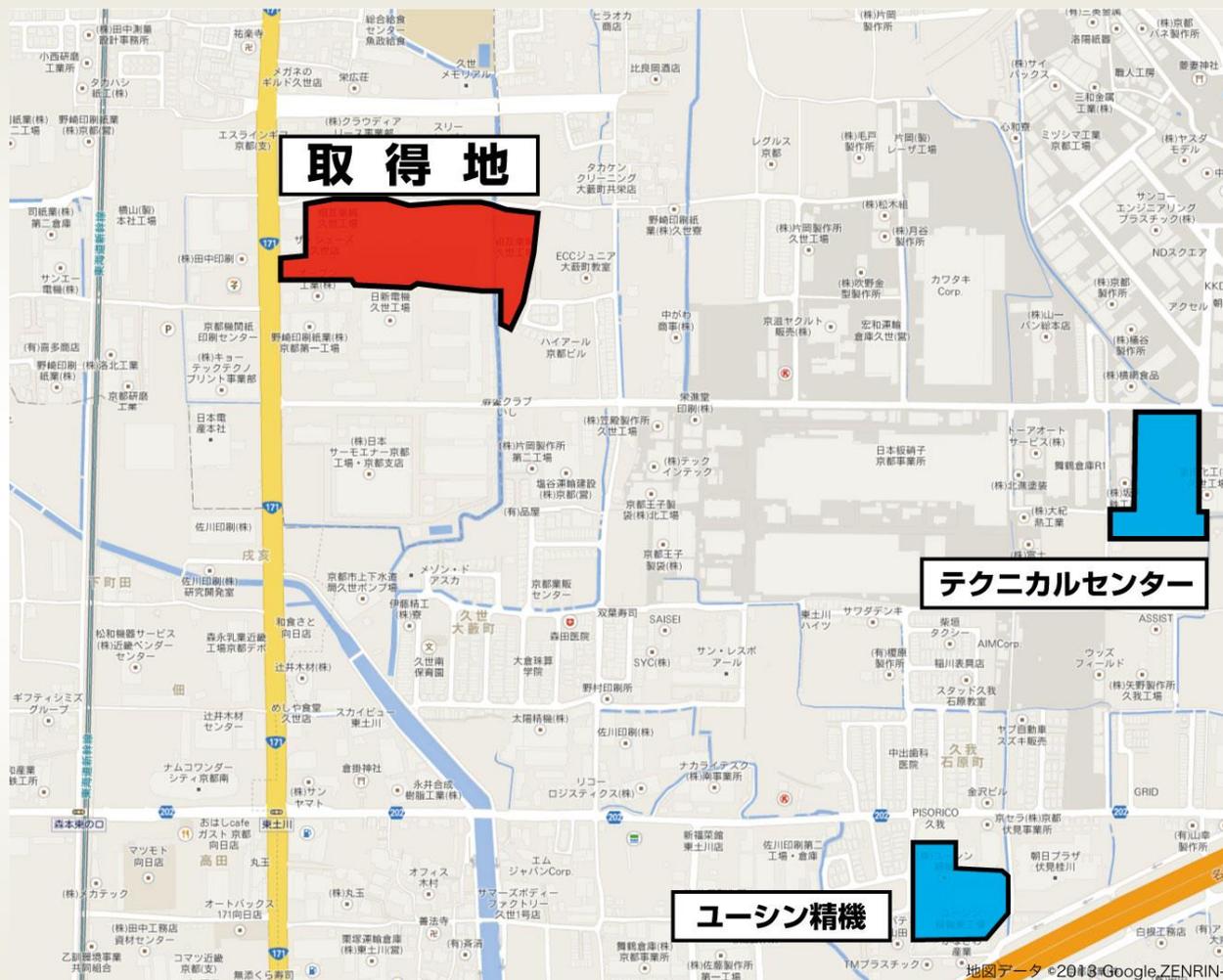
- 大阪大学との共同研究「プロダクトデザイン」により高度な技術力を持つ設計者を育成
- 各種研修の実施
  - 上級テクノスクール技術研修、マネジメント研修、海外トレーニー制度
- 当社設計規格の策定により技術の見える化

# 京都市南区に土地取得

➤ 2013年7月取得  
約6,350坪  
(約21,000m<sup>2</sup>)

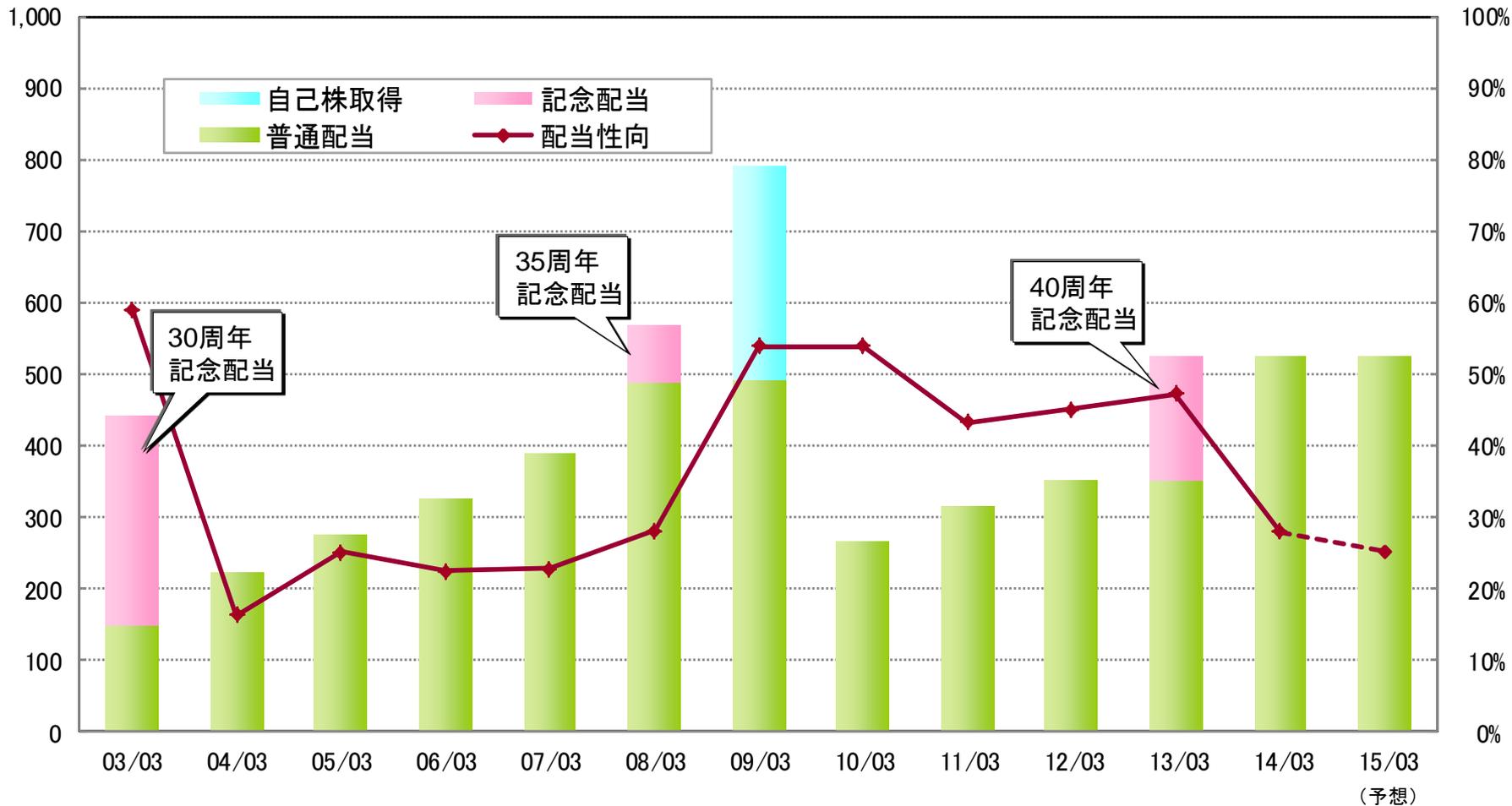
〈目的〉  
本社工場移転  
業務効率化

〈予定〉  
2016年度中の  
竣工



# 株主還元策

(百万円)



年間配当	30円	15円	17円	20円	24円	35円	28円	15円	18円	20円	30円	30円	30円
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

ありがとうございました。

## 株式会社 ユーシン精機

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

問合せ先 株式会社ユーシン精機 経営企画室

(TEL)075-933-9555 (E-mail)irin@kyo.ype.co.jp